

ペンギンシール999typeNB

作成日2010年02月22日
作成日2017年03月27日

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名:

ペンギンシール999typeNB

会社名:

サンスター技研株式会社

住所

山梨県南アルプス市宮沢181-1

担当部門

品質保証グループ

電話番号

055-284-3801

化学品の推奨用途及び使用上の制限

建築用シーリング材

緊急連絡電話番号

055-284-3801

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	区分4
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2B
呼吸器感受性	分類できない
皮膚感受性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分2B
生殖毒性	区分外
特定標的臓器・全身毒性(単回暴)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復暴)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類対象外

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	分類できない
水生環境慢性有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

警告

危険有害性情報:

H332 吸入すると有害
H320 眼刺激
H351 発がんのおそれの疑い

注意書き:

【安全対策】

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【救急処置】

P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337+P313 目の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

【保管】

P405 施錠して保管すること。

【廃棄】

P501 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国/地域情報

15.適用法令に記載

ペンギンシール999typeNB

作成日2010年02月22日
作成日2017年03月27日

3. 組成、成分情報

物質

単一・混合物の区分
一般名:

混合物
一成分形ポリウレタン系シーリング材

危険有害成分

	CAS番号	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	含有量(%)	化学物質管理促進法 (PRTR法)
メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	101-68-8	4-118	1未満	含有量から対象外
水酸化カルシウム	1305-62-0	1-181	5未満	対象外
酸化チタン	13463-67-7	1-558	5未満	対象外
カーボンブラック	1333-86-4	5-5222	1未満	対象外

4. 応急措置

吸入した場合:

新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合:

直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぎ取り去ること。
水又は適温の流水で洗浄した後、石鹼を用いてよく洗い落とす。
脱いだ衣類を再使用する前に洗濯し汚染除去すること。

目に入った場合:

皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを求めること。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。
水で数分間注意深く洗うこと。

飲み込んだ場合:

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
直ちに医師の診断を受ける。
口をすすぐこと。ただし意識の無い場合には、口から何も与えてはいけない。
嘔吐が自然に起こった時は嘔吐物が気管に入らないよう身体を斜めにする。

5. 火災時の措置

消火剤:

粉末、二酸化炭素、泡

特有の消火方法:

火災発生場所周辺への関係者以外の立入りを禁止する。
消火作業は風上から行う。
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な処置を取る。
大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火を行う者の保護:

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火作業の際は、空気呼吸器を含め適切な化学用保護衣を着用する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置:

作業者は適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項:

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。
漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。
密閉された場所に入る前に換気する。

回収、中和:

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。
後で廃棄処理する。

封じ込め及び浄化方法と機材:

大量の場合、盛土で困って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

二次災害の防止策:

危険でなければ漏れを止める。
漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。
関係箇所に通報し応援を求める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

保護手袋、衣類及び眼、顔面用の保護具を着用すること。

安全取扱い注意事項:

容器を転倒、落下、衝撃を加える、または引きずるなどの取扱いをしてはならない。

保管

技術的対策:

取扱い後はよく手を洗うこと。
蒸気を吸入しないこと。
屋外または換気の良い区域でのみ使用すること。
火気注意
容器を密閉して換気の良いところで貯蔵すること。

ペンギンシール999typeNB

作成日2010年02月22日
作成日2017年03月27日

保管条件 冷所、換気の良い場所で貯蔵すること。
容器は直射日光や火気を避けること。
施錠して貯蔵すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度(暴露限界値、生物学的暴露指標)

成分名	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	酸化チタン	水酸化カルシウム	カーボンブラック
管理濃度	未設定	未設定	未設定	未設定
許容濃度:産衛学会(2005年版)	0.05mg/m ³	4mg/m ³	未設定	未設定
ACGIH(2005年版)TLV-TWA	0.005ppm	10mg/m ³	5mg/m ³	3.5mg/m ³

設備対策: 換気及び洗眼器、シャワー等の設置を配慮する。

保護具

呼吸器の保護具: 必要に応じ呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具: 保護手袋を着用すること。
眼の保護具: 保護メガネを着用すること。
皮膚及び身体の保護具: 作業着等を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状态、形状、色など): ペースト状
臭い: 微臭気
pH: データなし
融点/凝固点: データなし
沸点、初留点と沸騰範囲: データなし
引火点: 40°C未満
燃焼又は爆発範囲の下限、上限: データなし
蒸気圧: データなし
蒸気密度: データなし
比重(密度): 約1.5
溶解度: 有機溶剤に可溶
n-オクタノール/水分配係数: データなし
自然発火温度: データなし
分解温度: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性: 常温では安定
反応性: 水、アミン等の活性水素、強酸化剤と反応する
避けるべき条件: 情報なし
混触危険物質: 強酸化剤
危険有害な分解生成物(一酸化炭素、二酸化炭素、水以外): 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

	経口	経皮	吸入(ガス)	吸入(蒸気)
メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	区分外 31600mg	分類できない	分類対象外	区分2 0.369mg/L
酸化チタン	区分外 >10000mg	区分外 >10000mg	分類対象外	区分外 >6.82mg/L
水酸化カルシウム	区分外 7340mg	分類できない	分類対象外	分類できない

急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)

各成分の含有量より区分4と分類した。

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:

メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート、酸化チタン、水酸化カルシウムの含有量から、区分2Bに分類した。

発がん性:

カーボンブラックの含有量から、区分2に分類した。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性
情報なし
水生環境慢性有害性
情報なし

ペンギンシール999typeNB

作成日2010年02月22日
作成日2017年03月27日

13. 廃棄上の注意:

残余廃棄物:

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装:

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規則

国連分類: 非該当
国連番号: 非該当
容器等級: 非該当
仕向け地の法律に従う。

国内規制

陸上輸送: 消防法に定められている輸送方法に従
海上輸送: 船舶安全法に定められている輸送方法に従う。
航空輸送: 航空法に定められている輸送方法に従

輸送の特定の安全対策及び条件

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法:

名称を通知すべき物質
名称等を通知すべき、およびリスクアセスメントが必要な危険物及び有害物 (57条の2、3):
メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート、酸化チタン、
水酸化カルシウム、カーボンブラック
名称等を表示すべき危険物及び有害物(57条):
メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート、酸化チタン、
水酸化カルシウム、カーボンブラック

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(通称 PRTR法):

非該当

消防法:

第二類 引火性固体

その他:

16. その他の情報

参考文献

- 1) 化学物質の危険・有害性便覧(中央災害防止協会)
- 2) 許容濃度等の勧告(2005年、日本産業衛生学会)
- 3) ACGIH(2005年)
- 4) GHS関連情報サイト(独立行政法人・製品評価技術基盤機構)
- 5) 労働安全衛生法第57条の2に基づく通知対象物質(安全衛生情報センター)

この安全データシートに記載の内容は、最善の調査に基づき現時点で入手できた情報により作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関してはいかなる保証をするものではありません。本製品は、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施のうえご利用下さい。尚、法改正や新しい知見、製品の改良等に伴い、予告なく安全データシートを改訂する場合があります。